

出前講座「土砂災害と火山噴火について」

- 開催日時：平成27年10月30日（金）10時00分から12時00分
- 開催場所：イーハトーブ火山局、小水無沢第1砂防堰堤 他
- 参加者：八幡平市立田頭小学校 6年生児童 12名

国土交通省岩手河川国道事務所では、総合的な学習の一環として出前講座を開催しております。

10月30日（金）、八幡平市にある「イーハトーブ火山局」等で出前講座を開催し、八幡平市立田頭小学校6年生児童12名が復興教育の一環として参加しました。

最初に「イーハトーブ火山局」で、「土砂災害と火山噴火」についてスライドを使いながら学びました。児童は、岩手山が過去に大きな噴火があった事や、土砂災害や火山噴火から身を守るためにどうすべきか、メモを取りながら熱心に学習しているようでした。また、迫力ある土石流や地すべりの映像を見たり、土石流模型実験装置を使って、砂防堰堤の役割を学びました。

次に「小水無沢第1砂防堰堤」を見学。あいにくの雨で、堰堤間近まで近づくことは出来ず上からの見学となりましたが、火山局で見た土石流模型実験の実物の堰堤を見て、その大きさを実感しました。

最後に特別天然記念物「焼走り溶岩流」を見学し、現地ガイドの説明を聞きながら、岩手山が過去にどんな噴火をしたのか学びました。また、実際に石を手を持って触り、噴火から280年以上たった今なお自然状態のまま残る荒涼とした景観を体感しました。

今日の出前講座を通じて児童の皆さんは、自分達が住んでいる地域にある岩手山が噴火した際にどんな災害が発生するのか、災害から自らの身を守るためにどう行動すべきか、また、どのような防災対策がとられているのか学習出来たようでした。



「イーハトーブ火山局」で、土砂災害や岩手山の噴火について学びました。



「土石流模型実験装置」で、砂防堰堤が土石流をくい止める様子を学びました。



「小水無沢第1砂防堰堤」を見学し、砂防堰堤が果たす役割について学びました。



「焼走り溶岩流」を見学し、岩手山が過去に大きな噴火があった事を学びました。